

令和7年度 静岡県立沼津城北高等学校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和7年11月19日(水) 10時00分～11時20分

2 開催場所 静岡県立沼津城北高等学校 会議室

3 出席者

(委員) 石川 雅典、鈴木 利貞、横山 仁
(欠席：小林 明美、津賀 由布子)

(学校) 校長 横溝 千都生、副校長 福室 敦之、教頭 秋永 能宏
事務長 水越 しのぶ

4 内容

(1) 校長挨拶

- ・各学年の様子を説明
- ・来年度は全学年が2学級となり教員が2名減る見込み。広い校舎の維持管理や教員の業務負担が課題となっている。

(2) 授業見学

(3) 今年度の学校運営状況について

- ・資料を基に、これまでの学校の様子を報告。
- ・三井住友信託銀行沼津支店から講師を招いて、3年生を対象に金融教育を実施。
- ・国際ソロプチミスト主催の研修会に3年生が1名参加し、全国から集まった参加者と意見交換し大変良い経験だった。
- ・「命のホームルーム」ということで1年生を対象にがん教育を実施。
- ・部活動では、弓道部は2年生が県大会で優勝し、全国大会および東海大会への出場を決めた。レスリング部は、インターハイに2名、全国大会に3名が出場した。
- ・授業改善とアンケート結果
7月に生徒対象の授業アンケートを実施。ICTの活用率が90%以上、グループ学習の実施率も8割を超えるなど、主体的・対話的で深い学びへの改善が進んでいる。授業への興味関心は高い一方で、その教科をさらに深めたい、大学の専攻にしたいと考える生徒は30%台に留まっており、学習意欲のさらなる向上が課題。

(4) 質疑応答及び意見交換

- ・先生方はあまり授業を変えたがらないと思うが、生徒の目線に立った指導は重要。教員同士の情報交換や生徒の活動に反応するとよい。
- ・地元企業との関わりを通じて、労働の現実や地域の良さを知る機会は非常に有意義であると考えます。
- ・授業評価アンケートは、記名式で実施し、丁寧なフィードバックが重要である。匿名式は本音が出てくると思うが、記名式のほうが意見を生かしやすい。
- ・OBとして野球部は頑張ってもらいたい、応援している。
- ・将来を見据えて、オープンキャンパスなどに1年生から積極的に参加するとよい。
- ・修学旅行で、平和教育を取り入れている点は良い。30年前はスキー教室だった。
- ・小規模な学校の良さを生かして丁寧な支援ができるのは強みなのではないか。

5 事務連絡

第3回学校運営協議会 令和8年2月上旬予定